

会議録

会議の名称	平成23年度第6回行財政改革推進委員会
開催日時	平成24年1月30日（月曜日） 10時00分から11時30分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：横道委員長 岡田委員 鈴木委員 中村委員 米森委員 山田委員 上野委員 事務局：池田企画部長 森本参与兼企画政策課長 柴原財政課長 横田企画部主幹 高橋企画政策課主査 佐野企画政策課主任
議題	1 平成23年度事務事業評価の評価結果について 2 事務事業評価における外部評価（試行）の検証について 3 その他
会議資料の名称	資料1 平成23年度事務事業評価 評価結果 資料2 外部評価（試行）の実施について 報告書掲載予定内容
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

開会

議題1 平成23年度事務事業評価の評価結果について

○横道委員長：

議題1について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

資料1に沿って説明

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○鈴木委員：

No. 15の休日診療事業について、歯科の部分に関しては見直しも含めて改善するとの説明でしたが、事業を縮小する可能性はあるのでしょうか。何となくこのままの状態に進んでいくのか、何か具体的に改善される部分はあるのかを教えてください。

○事務局：

歯科の休日における開業の状況については、以前より多くなってきているのは事実だと思いますが、日曜日は開業しているものの、祝日はやっていないというところも多く、現在の状況では、一概に休日開業医院が多いというところまでは言い切れないのではないかとということで、拠点を1箇所減らすという結論までには至りませんでした。ただし、今後も状況を見ながら、改めてもう一度判断するということになっております。

なお、休日診療所の活用については、実施の方向で検討することとしています。単価については、今回の評価の中では見直しはしないこととなりましたが、今後、情勢が変われば変更することもあると思います。

○鈴木委員：

こういった議論がされていることについて、医師会や歯科医師会は認識されているのでしょうか。また、どのような意見を持たれているのでしょうか。

○事務局：

所管課からの話となりますが、こちらでの議論と相手側のニュアンスとでは、かなり見解に隔たりがあると聞いております。歯科医師会からは、むしろ年末年始の診療拠点を増やすなどの調整を図りたいとの話があったと聞いております。

○米森委員：

今回の評価結果と予算との関係についてですが、廃止と評価された事業についての来年度予算はどのようになるのでしょうか。

○事務局：

苗木配布事業及びプレミアム商品券事業などは、来年度から廃止となる予定です。敬老金贈呈事業などについては、制度自体の組み直し等の検討をする時間が必要となりますので、平成25年度以降での対応と考えております。

○米森委員：

分かりました。基本的なものは平成24年度から対応する。その他についても可能なものから評価結果に則って実施していくとのことで理解しました。

○事務局：

事業によってはすぐに対応可能なものと、先ほどお話ししましたが制度の組み直しが必要なもの、また、改めて所管の審議会などでの議論を踏まえて実施する場合など、様々でありますので、そういう場合は、一定の時間がかかると考えております。

○横道委員長：

評価結果において、見直し、継続となった事業でも、制度を見直すものと予算を見直すものがあると思います。例えば継続実施とした事業でも、必ずしも評価結果と予算が対になっていないものもあると思いますが、その点について説明をお願いします。

○事務局：

継続実施と評価したものについては、基本的に「今の仕組みを継続するもの」として考えています。例えば何かを支給するといった事業の場合には、その支給対象者の見込みが増減することで予算も増減することとなります。

○横道委員長：

今回の評価における、予算の効果額については、後日示してほしいと思います。

○事務局

例年、行財政改革における効果額を算出しておりますので、後日お渡しさせていただきます。

○横道委員長：

他にご質問やご意見はありませんか。

○各委員：

特になし。

議題2 事務事業評価における外部評価（試行）について

○横道委員長：

では、議題2に移ります。事務局から説明をお願いします。

○事務局：

資料2に沿って説明

○横道委員長：

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

○山田委員：

評価をまとめる際の議論の場に事業担当者が同席すべきかについて、前回の会議の中で、私は市民委員でもありますので、職員が退席する形の方が気兼ねなく、自由に意見を言えるとの意見を言いましたが、そのことについては、多少の影響はあるとの認識です。これは、人によって違いもありますので、私の考えが全てというのではなく、必ずしも退席しなければならないという趣旨ではありませんので、その点をお伝えしておきます。それよりも、より良い議論をおこなうためには、評価する側がもっと事業を知ることが大切だと実感しております。

○横道委員長：

他市等で行っている事業仕分けの多くは、職員を退席させる形をとっていないと思いますので、同席でも良いかと思えます。今後、検討をお願いします。

○岡田委員：

私たちは事業の目的を評価しているのではなく、そのやり方に改善を求めています。そもそも政策目的、施策や事業目的そのものが問題となる事業というのは、かなり少ないと思います。その点で言うと、受け取る側の職員の方が、違う事業や違う方法により、更なる効果が出るのであれば、それを積極的に取り入れてやっていこうというような姿勢をもっと持ってほしいと感じました。長く事業を実施していると、その効果に疑問が生じる場合もありますので、一度見直し、より良いやり方を考えてみてほしい。私たちが言いたい事はこの点だと思いますので、繰り返しとなりますが、職員の方には、もっと前向きに捉えてほしいと思います。

○事務局：

今回は事業を選定する段階で、二次評価においてかなり厳しい評価となっているものを選んでおりますので、担当者としてもかなり身構えた状態で外部評価に臨んだ経緯もあったために、多少、平行線となる議論となってしまったと考えられます。

○横道委員長：

厳しい意見しかなく「行革ありき」のイメージだった、との担当部署からの意見については、当初からそのような問題のある事業を選んで評価している以上、ある意味当然の印象なのかもしれないです。

○事務局：

今回は、庁内において一次、二次評価を実施して、その上で問題のある事業を選んでおり、評価者も行革委員の方が行う形でしたので、事務局としては当然そのような議論になると認識しておりましたが、所管課との調整においては、その趣旨がうまく伝わらなかったのかと考えております。

○横道委員長：

廃止もあるという危機意識をもって臨むことが重要なことだと思います。

○横道委員長：

今回は、たまたま傍聴者は居ませんでした、今後実施する場合も、今回と同様の考え方で良いと思いますか。そのことについて、何か意見はありますか。

○事務局：

今回は、通常の委員会として開催しましたが、評価の際には広めの会場を用意して、傍聴者の方が参加しやすいような工夫を行いました。事務局としましては、委員の皆様からのご意見にもありましたが、他市で実施している事業仕分けのように、体育館みたいな広い場所を借りて、大々的にPRを行って実施することは、今のところ考えておりません。

○岡田委員：

委員会のような規模での開催では、参加対象を絞ってしまうということになります。限定的な公開の場合は、利害関係者だけが参加するというケースもあります。その場合は、一般市民の平均的な意見とは異なり、かなり突出した意見となりますので、そうい

う人が5～6人来られるだけで会場の雰囲気は変わってしまうと思います。そのあたりのバランスが難しいとは思いますが、体育館などのように、ある程度広い場所で行うことの意義もあるのではないかと思います。

○横道委員長：

今回は、大々的なPRなどのパフォーマンス的な要素を除いて、少し落ち着いた雰囲気の中できちんとした議論をすることに重きをおいて実施しましたが、私はこれぐらいで良いのではないかと思います。

今回のような外部評価を、今後継続して実施しても良いと思います。西東京市の行政評価制度の中では、来年度は施策評価の実施ということで、次回の実施は平成25年度となりますが、また、やってみる価値はあると思います。

他にご質問やご意見はありませんか。

○各委員：

特になし。

○横道委員長：

この報告書はいつ完成の予定でしょうか。

○事務局：

2月中に製本する予定となっておりますので、完成後には委員の皆様にもお渡しさせていただきたいと考えております。

議題3 その他

○横道委員長：

その他として、事務局から何かありましたらお願いします。

○事務局：

次回については日程調整をさせていただきましたが、各委員の皆様のスケジュール調整が整いませんでしたので、2月中旬の開催は見送らせていただきます。内容としては、来年度の予算でどのくらいの行革効果がでるのかや、行革の取組において特にどの分野を進めていくのか、反対にどの分野に課題があるのかなどについての報告を予定しておりましたが、定例議会の関係もごございますので、次回は年度明けでの開催とさせていただきたいと考えております。予定していた内容については、年度内に資料を郵送させていただき、資料の説明については、平成24年度の1回目の委員会において行なわせていただきたいと思います。

また、来年度は地域経営戦略プラン2010の中間の見直しを実施する年となっておりますので、7月頃までに現行プランの見直しについてのご意見をいただければと考えておりますので、その点につきましても宜しく願いいたします。

○横道委員長：

それでは、本日の会議は終了します。

閉会